

近藤君のつづやき

家に帰る途中の出来事

ライフプランナー 近藤 光寿

先日、早めに仕事が終わって家に帰る途中の出来事。

娘が通う小学校の前を通りかかると、女の子が3人下校途中でした。「あ、下校の時間か…。」と思っっていると、その時、その中の一人の

女の子が、別の遠くの方を一人を歩いている女の子に向かって大きな声で突然叫びました。「○○ちゃん。あんたって本当に背が小さいねー。きやははは」

3人の女の子は確かにそのからかわれた女の子より背が大きい。一見すると違う学年かと思ってしまう。

何か胸に引つかかる物を感じ、そのからかわれた女の子に「女の子は同じクラスなの？」と聞くと「はい」と小さな声で答えてきました。でもその顔は、笑顔を失っていました。可愛そうにいつもいじめられているのか…。その顔には暗い影がにじみ込んでいました。その女の子に「女の子たち、やな奴らだね。」と言うと、ほんの少しだけその女の子に笑顔に戻ったみたいでした。と同時に怒りがこみ上げてきました。

ここで放っておいてはまたその子がいじめられる。と思い、走ってそのきからかった女の子を追いかけました。「チビと待たなさい。君たちはいじめられてからかっているつもりかも知れないけど、自分では気づかぬことでもできない身体のことだからからうのは間違えている。君たちが思っている以上に女の子は傷ついている。おろろ一言。君たちは間違えている。」と怒りました。そしてその子達の学年とクラスと名前と担任の先生の名前を聞きました。「すみません。明日、謝ります」と一様反省はしているみたいでした。

次回へつづく…。

ソニー生命保険(株)
新宿ライフプランナーセンター第3支社
東京都渋谷区代々木3-22-17 新宿文化クイーンビル4F
TEL 03-53558117
E-mail mitstutoshi_kondou@sonylife.co.jp

伊香保からの手紙 第3回

蔵と茗むした昔の階段

伊香保おかめ堂本舗 千明仁泉亭 若女将 千明恭子

伊香保のいの一番。伊香保に来たら石段街。

そこは、観光スポットであるとともに、私にとっては生まれ育った場所。遊び場でもあり、通学路でもあり、いろいろな人と出会った場所。全てはここから始まりました。そう、おかめ堂本舗も。

石段街の中腹の細い路地を入っていったところに蔵があります。それはもう古くて、少し傾いていて、屋根は剥がれポロポロだけど、何かを感じるんです。空気が違う。

昔の石段は、茗がむしていてコリコリしていました。

雨が降ると水たまりが出来て、そこはどんよりした空が映ってみえて。夜になると、カランロンンという下駄の音、そして楽しそうな話し声が聞こえてくる賑やかな場所。

何年、何十年後にはきつとこう話しているのかな。

石段街のいの一番は？ 蔵かな。
じゃあ行ってみよかな…。

千明恭子(チギキキウウコ)
千明仁泉亭若女将
元日生まれ。気まぐれなのに事柄がいいかも。伊香保の自然が好き。